平成 30 年度 養介護施設従業者等による高齢者虐待に係る相談・対応状況

○養介護施設従業者等による高齢者虐待に係る相談・対応等件数

平成 30 年度の名古屋市としての虐待判断件数は 21 件となり、平成 29 年度の 13 件から増加しました。

区分	平成 29 年度	平成 30 年度
相談・通報総件数	40	43
虐待判断事例総数（虐待を受けた又は受けたと 思われたと判断した事例件数）	13	21

○虐待通報があった養介護施設等のサービス種別

「介護老人福祉施設」が 41.9%と最も高く、全体からみても入居施設で虐待事例が多い。

区分	平成 29 年度	平成 30 年度
訪問看護	1 (2.5%)	0 (0%)
短期入所生活介護	2 (5.0%)	1 (2.3%)
短期入所療養介護	0 (0%)	1 (2.3%)
特定施設入居者生活介護	2 (5.0%)	6 (14.0%)
小規模多機能型居宅介護	1 (2.5%)	1 (2.3%)
認知症対応型共同生活介護	11 (27.5%)	6 (14.0%)
介護老人福祉施設	12 (30.0%)	18 (41.9%)
介護老人保健施設	4 (10.0%)	4 (9.3%)
住宅型有料老人ホーム	7 (17.5%)	6 (14.0%)
計	40	43

○虐待があった養介護施設等のサービス種類

「介護老人福祉施設」が42.9%と最も高く、全体からみても入居施設で虐待事例が多い。

区分	平成 29 年度	平成 30 年度
短期入所生活介護	0 (0%)	1 (4.8%)
特定施設入居者生活介護	0 (0%)	4 (19.0%)
小規模多機能型居宅介護	0 (0%)	0 (0%)
認知症対応型共同生活介護	3 (23.1%)	3 (14.3%)
地域密着型介護老人福祉施設	0 (0%)	0 (0%)
介護老人福祉施設	7 (53.8%)	9 (42.9%)
介護老人保健施設	0 (0%)	3 (14.3%)
住宅型有料老人ホーム	3 (23.1%)	1 (4.8%)
サービス付き高齢者向け住宅	0 (0%)	0 (0%)
計	13	21

○虐待の種別

「身体的虐待」が56.0%と最も多く、次いで「介護等放棄（ネグレクト）」が20.0%と、「心理的虐待」が16.0%、「経済的虐待」が8.0%でした。

区分	平成 29 年度	平成 30 年度
身体的虐待	8 (47.1%)	14 (56.0%)
心理的虐待	5 (29.4%)	4 (16.0%)
介護等放棄（ネグレクト）	3 (17.6%)	5 (20.0%)
性的虐待	1 (5.9%)	0 (0%)
経済的虐待	0 (0%)	2 (8.0%)
計	17	25

※同一事業所で複数の虐待認定がある場合、それぞれの該当項目に重複して計上されるため、合計件数は虐待判断件数と一致しません。

○虐待を行った養介護施設従事者等の職種

平成 29 年度	介護職員
平成 30 年度	介護職員、看護職員、事務職員